

# 2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	〔国語〕〔現代の国語〕	1 年	2 単位	教科書	現代の国語 (数研出版)	副教材等	常用漢字ダブルクリア 国語便覧 (数研出版)	履修対象・ 使用教室 等	1 年総合コース 1 ～ 4 組	
教科・ 科目の 目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。									
評価の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。			「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5 段階の評定」とする。									
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	学習プリント		毎授業時			40%		40%		30%
	単元テスト・確認テスト		教材内容の理解			40%		40%		30%
	小テスト・課題・宿題等		毎授業時			20%		20%		40%
〔観点別配分％〕		〔3 観点の比重を％で示しています〕								
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度		
4 5	「読む」と「書く」/書けない日々	10	・オリエンテーション、接続語・指示語 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。			学習プリント	◎	◎	○	
						単元テスト	◎	◎	○	
						漢字確認テスト	◎		◎	
						家庭学習課題	◎	○	◎	
6 7	社会と文化/水の東西	15	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			学習プリント	◎	◎	○	
						単元テスト	◎	◎	○	
						漢字確認テスト	◎		◎	
						家庭学習課題	◎	○	◎	
8 9	ことばの働き/ものとことば	15	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			学習プリント	◎	◎	○	
						単元テスト	◎	◎	○	
						漢字確認テスト	◎		◎	
						家庭学習課題	◎	○	◎	
10 11	環境と科学/動物園というメディア	10	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			学習プリント	◎	◎	○	
						単元テスト	◎	◎	○	
						漢字確認テスト	◎		◎	
						家庭学習課題	◎	○	◎	
12 1	人間と時間/時を編む人間	10	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			学習プリント	◎	◎	○	
						単元テスト	◎	◎	○	
						漢字確認テスト	◎		◎	
						家庭学習課題	◎	○	◎	
2 3	認識の枠組み/他者を理解するということ	10	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			学習プリント	◎	◎	○	
						単元テスト	◎	◎	○	
						漢字確認テスト	◎		◎	
						家庭学習課題	◎	○	◎	
学習の アドバイス	◎どんな文章でも、ただぼんやりと読んでいるだけでは内容を正確に理解することはできません。筆者の言いたいこと（＝主題）が何であるのかを考えながら読み進める必要があります。そのためには、筆者が文中に仕込んださまざまな工夫（具体例、定義・言い換え、比較・対照など）を理解し、各段落の内容を立体的に再構成しなければなりません。そのための基礎を身につけてください。 ◎毎授業時に漢字の（確認テスト）を行います。取り組みの状況は、「主体的に学習に取り組む態度」として評価します。									